



## 三朝区 縁の下の力持ち 三朝アロエの会

3月行事 ひな祭り会食にて

手づくり昼食の準備を終えて「ハイ、ポーズ」  
会員13名で、心をこめたおもてなし。

三朝アロエの会（世話人 山本智子さん  
会員13名）は活動を始めて25年以上にな  
ります。「100歳元気な町づくり」を合言  
葉に、三朝区高齢者の交流と健康の場づく  
りに取り組んでいます。また、花湯まつり  
陣所やどんどさんの際の炊き出し、キュ  
リー祭ワイワイパレードへの参加など、区  
の伝統行事やイベントにも関わり、三朝区  
にとって欠かせない存在になっています。

世話人の山本さんは「月に1回のアロエ

の会開催という日常の感じと、イベントに  
関わるという“ハレ”の感じ。両方がいい  
感じに合わさっています。そのことが、日々  
の暮らしの中での人と人のつながりを強く  
していて、とても心地いいです」と言いま  
す。山本さんは6ページの「話を聴かせて」  
にも登場。ジゲへの想い、地域で繋がり、  
ワイワイ・ガヤガヤと愉しく暮らす様子を  
熱く語ります。

三朝町社会福祉協議会広報誌

# 福祉みささ

第207号

2024年5月1日

# 令和6年度 事業計画

事業計画及び一般会計予算についての詳細資料は、三朝町社会福祉協議会のホームページにて閲覧・ダウンロードすることができます。「三朝町社協」で検索、または [www.misasa-syakyo.or.jp/](http://www.misasa-syakyo.or.jp/) を入力してください。

- ## 重点事項
1. 小地域福祉活動推進体制の強化
  2. 相談支援活動の強化
  3. 在宅福祉サービスの充実

## 主な事業・活動の内容

### 法人運営・広報活動

運営体制を強化し、信頼される法人運営に努めます。

- ・理事会、評議員会、監事会の開催
- ・適正な会計事務、庶務全般
- ・広報誌「福祉みささ」の発行
- ・福祉大会の開催

### 地域福祉活動の推進

地域における住民主体の支え合いを推進します。

- ・集落福祉活動
- ・愛の輪運動
- ・ふれあい配食サービス
- ・福祉関係者合同研修会
- ・生活支援体制整備事業(町受託)
- ・いきいきサロン事業(町受託)
- ・ショッピングデイサービス事業(町受託)
- ・地区別高齢者交流会の開催

### 相談支援の推進

困りごとの相談を受けて、安心できる暮らしのお手伝いをします。

- ・総合相談所の開設
- ・福祉資金の貸付
- ・成年後見法人受任
- ・日常生活自立支援事業(県社協受託)
- ・生活困窮者自立支援事業(県受託)
- ・ひきこもり支援

### ボランティア活動・福祉教育の推進

「ボランティア・福祉の心」の醸成を目指します。

- ・ボランティアセンターの運営
- ・ボランティア団体助成
- ・介護支援ボランティア事業
- ・ボランティアスクールの開設
- ・小中学生デイサービス交流
- ・福祉教育助成

### 介護保険、障がい者総合支援事業

「住み慣れた地域で安心してずっと暮らせる」を目指します。

- ・居宅介護支援事業
- ・訪問介護事業
- ・通所介護事業
- ・障害者居宅介護事業
- ・障害者地域生活支援事業
- ・重度障がい児者医療型ショートステイ整備等事業(県補助)

### その他受託事業

- ・外出支援事業(町受託)
- ・産後ヘルパー事業(町受託)
- ・配食サービス事業(町受託)

### 三朝町立福祉センターの管理運営

## 令和6年度 予 算

収入科目	予算額	内容	支出科目	予算額	内容
会 費	3,240,000	一般会費、賛助会費、特別会費	法人運営事業	10,469,000	運営事務費、会議費、役員研修費 等
寄 付 金	1,500,000	香典返し寄付、一般寄付	地域福祉事業	14,000,000	ボランティアセンター事業、愛の輪運動 等
補 助 金	30,491,000	町(福祉事業及び施設管理)、県社協	共同募金事業	2,318,000	広報事業、福祉団体・ボランティア助成 等
受 託 金	29,678,000	町、県社協、県	介護サービス	87,517,000	介護保険事業、障がい福祉事業
共同募金配分金	1,768,000	赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金	町受託事業	19,193,000	サロン事業、配食サービス事業、外出支援事業 等
介護サービス費	79,567,000	介護保険事業、障がい福祉事業	県、県社協受託事業	9,013,000	生活困窮者自立支援事業、日常生活自立支援事業
事業収入	1,510,000	入浴料等の事業利用料	施設管理事業	20,005,000	福祉センター管理運営費
基金取崩	856,000	備品等購入基金	そ の 他	19,165,000	繰越金
そ の 他	33,070,000	預金利息、繰越金			
収入合計	181,680,000		支出合計	181,680,000	

# 「愛の輪運動」 にご理解とご協力を

三朝町社会福祉協議会では、見守りが必要となった高齢者等に対して、普段からお付き合いのある近隣の人に訪問員になってもらい、日々の安否確認を行う「愛の輪運動」を推進しています。

### Qどのような人が対象になる？

A おおむね65歳以上のひとり暮らし高齢者や高齢者世帯、障がい者世帯などで日常生活に不安を抱える人です。

### Q訪問員はどんな人？

A 地区の民生委員と相談し、本人にとって適任と思われる人に依頼します。ご近所の気の合う人などをお願いする場合があります。

### Q見守り活動の内容は？

A 日頃のお付き合いの延長として定期的に訪問を行ったり、新聞や郵便物が取り込まれているかやカーテンが開け閉めされているかなど、日常生活での声かけや安否確認をしてもらいます。

### Q訪問員だけが見守りをする？

A 愛の輪訪問員だけでなく、ご近所の人にもさりげない見守りをお願いします。



## 救急医療情報キット活用でさらに安心!!



### Qいつ役に立つ？

A 自宅で具合が悪くなり救急車を呼んだ時、駆けつけた救急隊員などに持病やかかりつけの病院等の情報を、確実に伝達するためのものです。

### Qどう使う？

A ①必要な情報を記載したシートを専用のケースに入れ、自宅の冷蔵庫に保管します。

②冷蔵庫と玄関の内側にキットがあることを示すステッカーを貼り付けます。

救急隊員は必要な情報を迅速に確認することができます。

救急キットの情報は随時更新し、万一の時に備えましょう。

変更等が生じている方、新たに希望される方は

三朝町社会福祉協議会 ☎43-3388までご連絡ください。

# 総合相談のお知らせ

相談の区分	担当者	相談日	相談時間	場所/電話番号
人権に関する相談	人権擁護委員	社協窓口にて随時受付、各相談員へ引き継ぐ	8：30～17：00	三朝町立 福祉センター ☎43-3388
子育てに関する相談	主任児童委員			
行政に関する相談	行政相談員			
心配事に関する相談	総合相談所相談員			
介護に関する相談	介護支援専門員			
生活の困窮などに関する相談	社協担当専門員			

行政相談については毎月第3水曜日に相談窓口を開設しています。時間 9：00～12：00

開設日	開設場所	開設日	開設場所	相談電話
5月15日(水)	文化ホール	10月16日(水)	福祉センター	三朝町立 福祉センター ☎43-3388 三朝町 総合文化ホール ☎43-3512
6月19日(水)	福祉センター	11月20日(水)	文化ホール	
7月17日(水)	文化ホール	12月18日(水)	福祉センター	
8月21日(水)	福祉センター	1月15日(水)	文化ホール	
9月18日(水)	文化ホール	2月19日(水)	福祉センター	
		3月19日(水)	文化ホール	

## 社協の人財

### インタビュー



介護係  
安田 慎吾

・所属と勤務年数を教えてください。  
介護係デイサービス所属です。勤務年数は6年と9か月になります。

・具体的な仕事内容を教えてください。  
介護員として、ご利用の皆様が自分ではしづらい部分や整容(髭剃りから爪切りなど)をお手伝いしています。また生活相談員として、皆様のお困り事やお話しの中で気になる事等について関係者に報告、相談し解決に向かうように支援をさせていただいています。

・仕事におけるやりがいは何ですか。  
デイサービスに来て「今日は楽しかった」「一日が過ぎるのがあっという間だった。」など利用者様から充実した一日を送れたと感想を聞いた時に一番やりがいを感じます。

・目指す理想像を教えてください。

理想像は「皆様に信頼や安心感を持ってもらえる職員」です。デイサービスはお越しになる皆様が1日の半分以上をお過ごしになる場所です。信頼や安心感が無いと常に一緒に過ごしていく事はとても難しい事だと思います。

恐れ多いのですが家族と同じ居心地と思ってもらえて、デイサービスで過ごした出来事を一緒に思い出したりして笑いあえるような職員。そんな存在になれたらいいなと思っています。



## 要約筆記者養成講習会(鳥取県、鳥取市主催)受講者募集

きこえない・きこえにくい人の意思疎通支援を行う要約筆記者を養成するため、講習会が開催されます。

とき：6月15日～11月9日(全21回)

午前10時～午後3時

ところ：県立福祉人材研修センター他

内容：厚生労働省要約筆記者養成カリキュラムに準じて実施します。

①実技②きこえない人等に関する講義

※受講対象者は、高校生以上のきこえない・きこえにくい人の社会参加に理解と熱意を有する方。

コース：手書きコース、パソコンコース。  
※パソコンコースは受講要件あり。詳細は受講案内・HPに記載。

受講料：3,000円(テキスト代別途)

受講申込方法：郵送・FAX・HP申込フォーム

受講申込締切：2024年6月7日(金)必着

申込書の請求・問い合わせ

鳥取県中部聴覚障がい者センター

☎0858-27-2355

FAX 0858-27-2360

## レクリエーション用品等の貸出について

三朝町社会福祉協議会では集落や地区での行事用にレクリエーションの用具、テント、椅子やバーベキューコンロ等の貸し出しを行っています。使用にあたっては、事前にお申し込みください。なお、運搬は使用者で行うようお願いいたします。

### 【レクリエーション・イベント用品】

輪投げ、パットゲーム、バグー 等	各500円/日
テント、パイプいす、長机	無料
バーベキューコンロ、鉄板、大鍋	各500円/日
ポップコーン機、綿菓子機、炊き出し用大鍋	各1,000円/日

### 【福祉用品】

車いす

500円/月

(短期間の貸出は無料)



## 災害義援金の報告

能登半島地震災害義援金につきまして、多くの町民及び事業所の皆様にご協力いただきありがとうございました。

義援金総額 698,476円(3月15日集計)

募金及び募金箱の設置にご協力をいただいた事業所等

▷三佛寺様 ▷三朝町建設業協会様 ▷三朝石油様  
▷三朝温泉観光商工センター様 ▷鳥取中央農協三朝支所様  
▷三朝郵便局様 ▷三朝温泉郵便局様 ▷穴鴨郵便局様  
▷食味様 ▷三朝町役場様

義援金の募集は、12月27日まで行われます。引き続きのご協力をお願いします。

## 《寄付紹介》

〜ありがとうございました〜

### ◆香典返し寄付者

下西谷 山田 峰子様 (故山本久江様)	金一封
森 米原 幸喜様 (故一恵様)	金一封
森 長田 篤様 (故美恵子様)	金一封
大瀬 平 京子様 (故日出男様)	金一封
木地山 小椋 晴海様 (故勝恵様)	金一封
坂本 入江 正敏様 (故正尊様)	金一封

# 話を聴かせて



三朝区 山本智子さん

## 「アロエの会世話人

10年くらい前から「アロエに入らん？」と声をかけてもらっていました。働いていたので、「退職したら・・・」と返事をしていました。定年退職したら即、「約束しとったでな」と入会の運びとなりました。アロエの会は雰囲気穏やかで、楽しくて、居心地いいなあと思いついていたら、あつという間に会の代表になっていました(笑)。でも皆さんの「一緒にやってくんだから」「手伝うから」「仲間なんだから」という言葉に励まされて、守られながら何とかやっています。メンバーの年齢と共に、活動内容も少しずつ変わってきていると思います。活動が苦痛になったり、嫌になったりしないように、できることをしていったらいいと思っています。「する側」

「される側」ではなく、参加する皆が仲間って感じで楽しめることをしていきたいと思っています。

## 「三朝区を支える

花湯まつり陣所の際の炊き出しも行っていきます。なかなか大変ですが、子ども会と一緒にやって子どもたちや、その親世代と作業ができません。男性グループと一緒にやることもあるので、いろんな人たちと顔を合わせる事ができて、世代間交流の場になります。地域の行事は、ともすれば「やらされ感」があったりして負担に感じることもあると思います。でも、ジゲの人同士の大事なつながりの場なんだと思うように



ひな祭り会食 ちらし寿司準備中



ヨガ講師に来てもらいました(株湯での出会い)

になりました。

キュリー祭のワイワイパレードにもアロエの会メンバーで参加しました。三朝区の連に人数が足りなくて出られないかもしれないと聞いて、三朝でやる祭りなのにジゲが出ないわけにはいかない」と思い、アロエのメンバーに声をかけました。踊りの練習が必要になるので、子どもたちの夏休みラジオ体操に参加して、その後に子どもたちと一緒に練習しました。本番でアロエのメンバーが踊っている姿を見て「来年私も出る」と言ってくれた人がいて、うれしかったです。

## 「おせっかいおばさんに私はなる

今いなくなつたと思います。昔はそこかしこいらつしやつたのです。個人情報保護という風潮に流されて、声かけがためらわれる

ようになってしまいました。子どもたちに対する「何年生になった?」「暗いけ、もう帰らないよ」という日常会話すらためらってしまいます。人がどんどん個々になつてしまつて、集団とか地縁とかが薄まつている感じがします。

婚活パーティー等が増えてきているのは、おせっかいおばさん不在が影響していると思つてしまいます。どんなにSNSが発達しても、今も昔も若い人の出会いの範囲が限られていて、昔はおせっかいおばさんがそれを広げてあげていたのかなと思います。

あいさつやちょっとした声かけが大切なのだと思います。「おはよう」「こんにちは」「いつてらつしやい」「おかえり」。当たり前と思つていた小さな積み重ねが人のつながりを強くしていくのだと思います。

## 「魅せる

女性はお出かけするとき、服を選び、髪を整え、メイク、アクセサリーもバッチリにします。ジゲの集まりの時でも、そんな素敵の方がたくさんおられ刺激を受けます。人と会つて「自分を見せる」として「魅せる」。これが気持ちに張りを生みます。健康にもつながっているのかもしれない。歳をとるのでなく、「歳を重ねる」として「自分を魅せる」。アロエの会もそんな場でありたいと思います。アロエの会の皆さんは私の目標であり、三朝区の宝だと思っています。